

A8760	205系 500番台・相模線 登場時 豊田電車区 4両セット	予価:16,700円(税別)
		JANコード: 133026 カートン内入数: 12

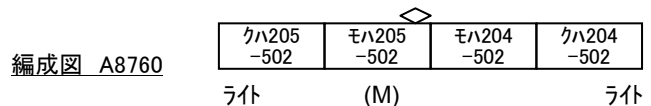
A8761	205系 500番台・相模線 シングルアームパンタ 国府津車両センター 4両セット	予価:16,700円(税別)
		JANコード: 133033 カートン内入数: 12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	1985(昭和60)年、国鉄は新世代の通勤型電車として205系を登場させました。205系は国鉄で初の軽量ステンレス製車体を持ち、界磁添加励磁制御が採用されました。国鉄民営化後も旧型車両を置き換えるために205系が製造されました。1991(平成3)年には相模線電化開業用として4両編成13本の205系が豊田電車区に配置されました。前面形状は左右非対称の斬新なもので、客用扉には半自動機能が設けられたほか、スカートが設置されるなどの変更が行われて新たに500番台に区分されました。その他にも車側灯の小型化、ベンチレータの無塗装ステンレス化などの小改良が行われています。登場以来茅ヶ崎～橋本間で活躍しているほか、ラッシュ時には八王子まで直通する運用も見られます。2009(平成21)年より順次パンタグラフがシングルアーム式のものに交換されています。
商品概要	・マイクロエース通勤型電車シリーズの更なる充実 ・JR東日本相模線を走る205系500番台をプラ製完成品初の製品化 ・ヘッドライト、テールライト、前面行先表示点灯。LED使用 ・フライホイール付動力ユニット搭載

ステンレスボディに濃淡緑の帯。登場時



- ・側灯が小型化された最終製造グループ
- ・ベンチレータが銀色の姿
- ・先頭車にシルバーシートマークを印刷済

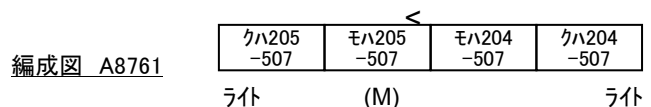


JR東日本商品化許諾済

シングルアームパンタに換装後の姿



- ・前面手すりが銀色の姿
- ・ベンチレータが灰色化後の姿
- ・シングルアームパンタグラフ搭載の近年の姿を製品化



JR東日本商品化許諾済

オプション	幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001
付属品	行先シール